

令和4年度 箱根町町政モニター第2回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

YouTubeについて

○ 調査理由

箱根町では、2020年から公式YouTubeチャンネルを開設しており、複数動画を投稿しておりますが、定期的に投稿するコンテンツがなく、活用しきれていない状況です。今後の活用の参考とするため、皆様のご意見のいただきたいと考えていますので、アンケート調査にご協力をお願いします。

○ 回答期間

令和5年1月23日(月)から2月5日(日)まで

○ 対象者

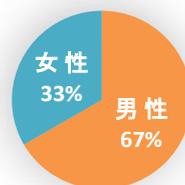
箱根町町政モニター 70人

○ 回答者数(回答率)

24人(%)

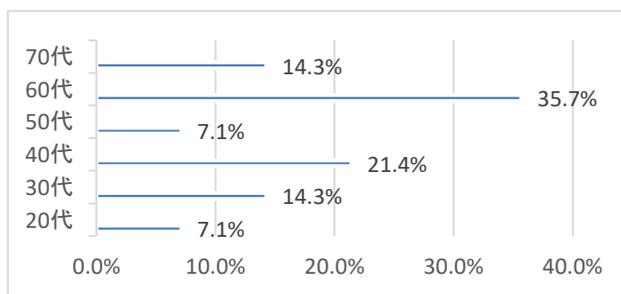
○ 回答者の基本属性

性別	回答者数	割合
男性	16	66.7%
女性	8	33.3%
合計	24	100.0%



■ 男性 ■ 女性

年齢	回答者数	割合
20代	1	7.1%
30代	6	14.3%
40代	2	21.4%
50代	4	7.1%
60代	8	35.7%
70代	3	14.3%
合計	24	100.0%



## ○ YouTubeの閲覧について（質問 [1] , [2] , [3] , [5] ）

[1] YouTubeの閲覧頻度では、「毎日見ている（41.7%）」、「よく見ている（16.7%）」と多くの方が定期的にまたは頻繁に視聴していることが結果から分かりました。YouTubeは現代の主要なメディアの一つとして位置づけられており、多くの人々にとって重要な情報源や娯楽の提供元となっていることが、回答から読み取れます。

[2] 興味のある動画では、YouTubeの利用者は様々な種類の動画に興味を持っていることが分かりました。音楽や旅行・イベントに関心がある方が多く、ニュースや政治に関する動画も票数が多くありました。一方で、「ユーチューブ動画配信を知らなかった」という方は、他のメディアやプラットフォームを利用して情報やエンターテインメントを得ている可能性があります。

YouTubeは多様な興味や関心を持つ方々にとって魅力的なコンテンツプラットフォームであることが分かりました。

[3] 一つの動画の適切な長さとしては、「5分から10分程度（54.2%）」という結果から、多数の方が5分から10分程度の動画を見やすいと感じていることが分かりました。また、「5分未満（37.5%）」と短い動画も見やすいされていることが回答結果から読み取れます。

[5] 箱根町公式YouTubeチャンネルの存在については、ほとんどの方が箱根町にYouTubeチャンネルがあることを知らなかったと回答しています。一部の方は、箱根町にYouTubeチャンネルが存在することを知っているもの、実際に見たことがある方はわずかで、4.15%が「知っていてみたことがある」と回答しています。同じく4.15%の回答者は、「知っているが実際には見たことがない」と回答しています。箱根町のYoutubeチャンネルがより多くの方に認知されるために、適切なプロモーションや情報発信が必要であることが分かりました。

## ○ 動画配信の強味と興味のあるコンテンツについて（質問4・6）

[4] 動画の情報発信の強みとして、「音声での情報発信が可能であること（54.2%票）」がこの意見に投げられました。次いで、「流し見（50.0%）」「文字や写真に比べて情報量が多い（41.7%）」となっています。動画は視覚的な要素や音声、テキストなどを組み合わせることができるため、情報をより豊かに伝えられることが要因になりうると考えられます。

総じて言えることは、YouTubeの動画は情報量の豊かさ、音声での情報伝達、流し見など、他の情報媒体にはない独自の強みをもっているということになります。

[6] 箱根町公式YouTubeチャンネルで配信してほしい内容としては、「イベントの告知や、イベント当日の様子（15票）」がこの項目に投票しました。町のイベント情報やイベントへの参加を促す情報が期待されます。また、「町立観光施設の紹介（12票）」についても同様に興味を持っていることが分かりました。

## ○ 視聴者数について（質問7）

[7] 町民の方に箱根町公式YouTubeチャンネルを見ていただくために、どんな工夫が必要だと思いますか。（自由記入）」に対しては、多角的なアプローチが必要であり、情報の面白さや興味を引く要素を取り入れることが重要と思われれます。また、広報活動や告知を通じてチャンネルの認知度を上げ、定期的な情報発信や継続的な取組を行う工夫が必要と思われれます。

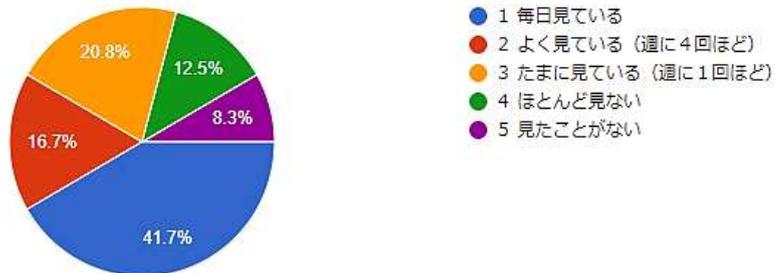
## 総論

本アンケート調査では、町の公式YouTubeアカウントの運用について、様々なご意見をいただきました。箱根町公式YouTubeチャンネルは認知度が低く、多くの方が存在を知らない状況であるため、本アンケート調査を基に運用の参考にさせていただきます。

### 3 アンケート集計結果

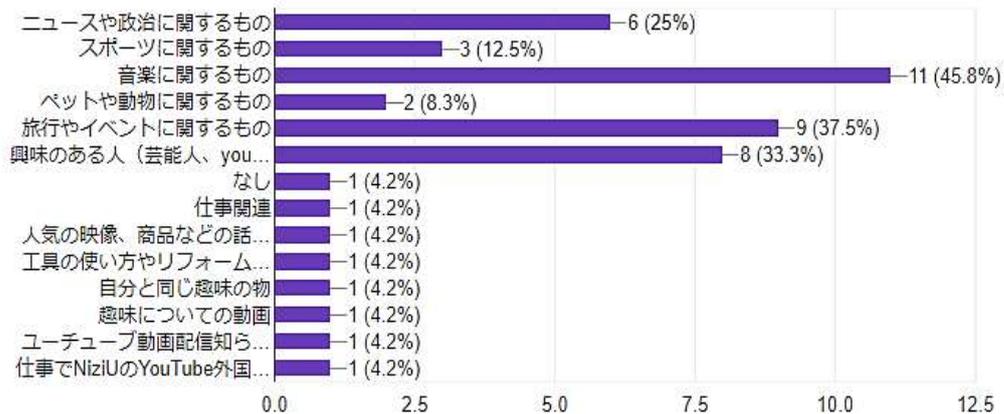
#### 【1】YouTubeは見たことがありますか

24件の回答



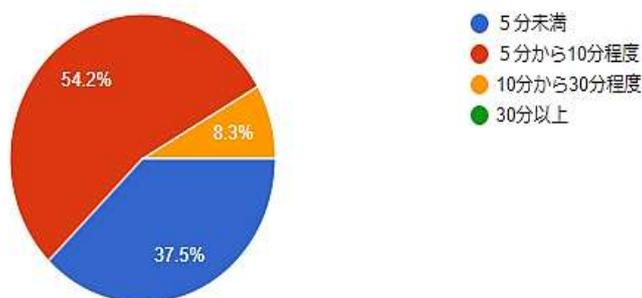
#### 【2】YouTubeを見たことがある方はどんな動画を見ていますか。また、ほとんど見ない方・見たことがない方は、どんな動画なら見てみたいと思いますか (複数選択可)

24件の回答



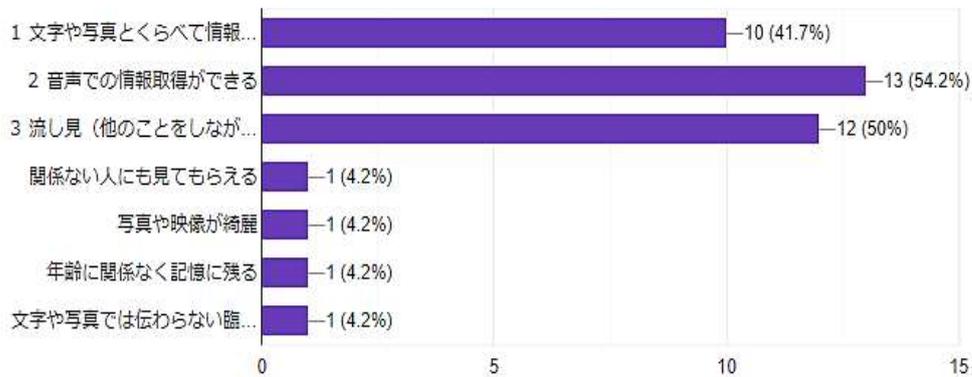
#### 【3】一つの動画の長さとして、見やすいと思うのはどれですか？

24件の回答



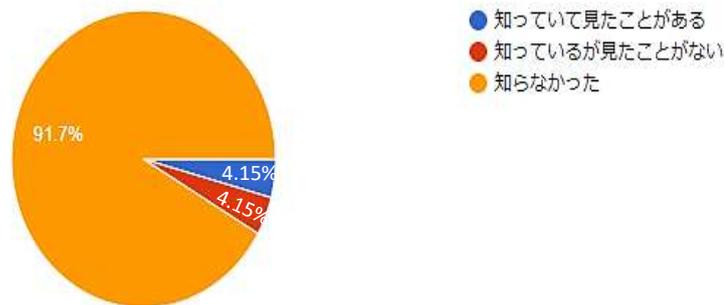
【4】広報はこねやホームページなどの情報媒体と比べて、動画での情報発信の強みは  
 なんだと思いますか

24件の回答



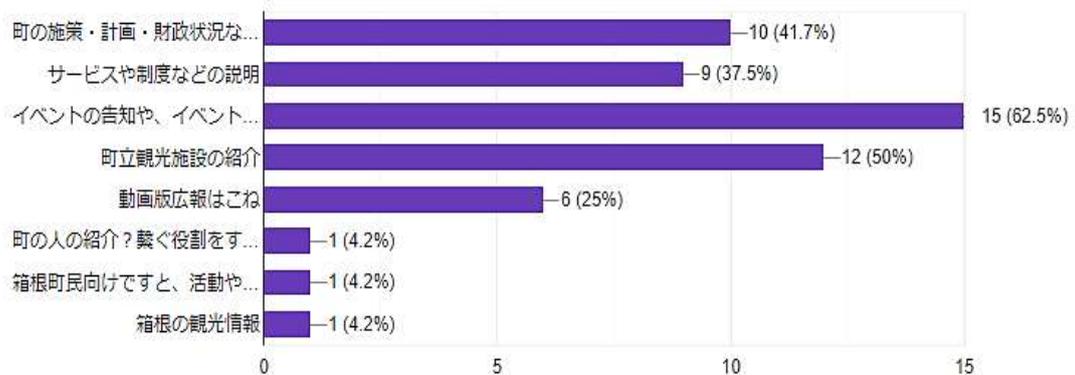
【5】箱根町にYouTubeチャンネルがあることは知っていましたか

24件の回答



【6】箱根町公式YouTubeチャンネルで配信してほしい内容はなんですか

24件の回答



【7】町民の方に箱根町公式YouTubeチャンネルを見ていただくために、どんな工夫が必要だと思いますか。（自由記入）

19件の回答

箱根親善大使に出てもらう

役所で流す

回覧版に目立つように載せる

あらゆる場所でのPR

知っている人がでる。生の情報を早く発信する。議会の配信。

各種手続きをわかりやすく紹介する。

編集技術や撮影方法の工夫、内容の面白さとトレンドを理解出来る人の起用

youtubeは、ピンポイントの情報検索ができないので、日常的には使い辛いと思います。youtubeのメニューを箱根町HPに掲載してください。

SNS等での告知をする

チャンネルの知名度を上げるために、ウェブ以外の場で情報発信。

観光地として確立されている地で生活感の無い箱根町だからこそその暮らしに関する楽しみ、利便性、豊かさを伝えること。

事務的な告知動画では面白くない。ご当地キャラなどを使って体験的にするなどエンターテインメント要素があったほうが良い。タイトルやバナーも押したくなる様なデザインにした方が良い。

楽しい企画

回覧版にユーチューブ動画配信サービスしています。

他県の方に向けての、内容より住んでいる人が興味持てる内容、観光目的な内容、他の媒体でも取り扱っているため、面白くしようとかが、目的ではなく、興味を持って、口コミで伝えたいような・・・また、クラブファンしながら、町庁舎をリフォームして、明るいイメージを持てるような建物にしてみたら？住民が集える、町民専用カフェみたいな？屋上を開放して景観を楽しめる建物になれば、宣伝にも繋がるような？古くて、暗い建物の庁舎では、イメージもよくないみたい。YouTube以外の、コメントになりまして、すみません。

町民のアドレスを登録していただき、新規のコンテンツができれば、繰り返し知らせる。

バラエティ要素のある見ていて楽しい見せ方であれば、どんな内容でも何気なく見てしまうと思います。ユーチューブには魅力的なコンテンツがたくさんあるので、その中から見てもらうということはそれなりの方法が必要です。どんなに良い内容でもただ淡々と味気ない見せ方では誰も見ないと思います。はこ次郎とごうらんによる動画とか面白そうですが、しゃべれないキャラですよねたしか。

極めて当たり前のことですが、以下に記載したことを実施していくことが最も大切だと思います。特に最後に記載した定期的かつ継続的に情報を発信することはなかなか難しいことですが、最も大切だと考えます。

- ・視聴者が興味のある情報であること
- ・YouTubeチャンネルで情報を発信していることを広くアピールすること
- ・定期的かつ継続的に情報を発信していくこと

40年間、広報宣伝や映像制作の仕事をしてきた者として発言させていただきます。箱根町に1000人もいない視聴者のためにYouTube動画を制作することは無駄だと思います。動画を発信する目的はなんでしょうか？流行りとして公式チャンネルを立ち上げられたのだと思いますが、この先何10年間に渡り、毎月何本も動画を制作してアップし続けるだけの覚悟がないと運営はできません。個人のYouTuberならチャンネル登録者が増えなければやめればよいのですが、自治体がやるとなると相当な覚悟と予算を考えないと続けられないと思います。映像の制作費は安くありませんし・・・。全国向けでしたら、フワちゃんとチョコブラ松尾さんがコンビで毎月いろいろテーマで箱根町を面白おかしく紹介してくれるとか…。現実的には、ボランティアYouTuberの公開募集をネタとして全放送局のニュースワイドで取り上げてもらうところから話題にする、などでしょうか。いずれにせよ、目的と効果をきっちりプロデュースできる担当者次第かと思います。話題性が必要で内容も良くないと続きません。特に、有名な箱根町ですので失敗はできません。